

平成30年度『男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業』

2019年2月24日(日)

女性の『学ぶ・働く・生きる』応援フェスタ

@東京ウィメンズプラザ



事例研究成果報告

瀬山紀子 全国女性会館協議会常任理事
埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネータ

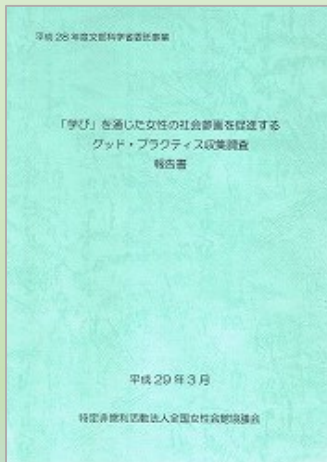
全国女性会館協議会



全国の男女共同参画センター／女性センターを結ぶネットワーク組織。北海道から沖縄まで、86施設が加入

目的: 全国の男女共同参画センターをネットワークで結び、事業や施設、人材に関する専門的な研修、情報発信、調査研究等を実施することによって、男女共同参画社会の形成の促進に寄与すること

「学び」を通じた女性の社会参画を促進するグッド・プラクティス収集調査報告書 (2017)



調査目的: 女性が「学び」を通して社会参画するための力を身に付け、経済活動や地域社会づくりの担い手として活躍できるように支援・育成している事業の好事例を収集・分析

- ・さまざまな機関の連携が女性たちの〈学び・出会い・実践〉をサポートする場を構成している
- ・女性たちは、学びの場で知識や技能の習得をすると同時に、仲間やネットワークをつくり、動き出している
- ・「学び」と「社会参画」の間には、まだ社会的な障壁が存在
- ・女性たちの「学び」が、社会参画へとつながっていくためには、社会の側の変容が同時に進んでいく必要がある

平成30年度

『男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業』 における研究協議会

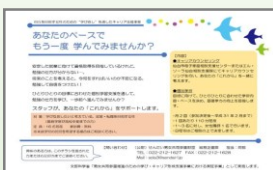


地域において大学、地方自治体、男女共同参画センター等が有機的に連携して女性の再就職支援を行っている事例について研究

■問題意識

- ・女性の継続就業は現在もなお大きな課題：第4次男女共同参画基本計画の第一子出産前後の女性の継続就労率55%は未達成。同時に、女性は、結婚や子育てを理由としない離職・転職も男性と比べて非常に多い
- ・現在就業していない状況にある女性の多くは、就労を希望している
- ・女性のキャリア形成を考える際には、現状の性別役割分業への批判的視点が不可欠
- ・働き方やキャリア形成の在り方、同時に<キャリア>の捉え方も検討していく必要がある
- ・多様なリソースをもつ機関の有機的連携が不可欠

事例



自立を目指す女性のための“学び直し”を通じたキャリア支援事業

伴走型の学習支援による基礎学力の向上のための「学び直し」と、性別役割分担意識にとらわれないキャリア支援を並行して行うもの。キャリア＝人生ととらえ、各種試験等の合格率だけを成果とするのではなく、「学び方」を学び、学び直すことによって、自走する力を身につけ、生き方を選択し、何度でも自らチャレンジできる力を養う。

実施主体：せんだい男女共同参画財団（仙台市男女共同参画推進センター）

連携主体：仙台市母子家庭相談支援センター、（一財）学習能力開発財団



ターゲットセグメントによる学び直しでキャリア&ライフデザインの立体的支援

(1)ターゲットセグメント及びコンセプトメイキング、(2)大学、企業、男女共同参画センターが連携し、それぞれの強みを活かした学び(セミナー)を提供(キャリアデザインプログラム)、(3)市民を巻き込んだテーマ複合型フェスタを地域で開催し、セミナー参加者、連携機関の構成員、地域の活動家等の人材や情報を交流・共有して、女性の学びとキャリア形成を一体的に行う。

実施主体：大阪市男女共同参画のまち創生協会（大阪市立男女共同参画センター）

連携機関：大阪市立大学、株式会社アクセプト

事例



文部科学省「女性30歳未満男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」
女性のための再就職支援講座
 再就職支援のための学び・キャリア形成支援事業の一環として、再就職支援講座を開催いたします。

| | |
|---|---|
| 第1回 10/10日(水) 14:00~16:00 世の中がわかる 経済記事の読み方 中村 和之 先生 経済学専攻経済学専任教授 | 第2回 10/17日(水) 14:00~16:00 仕事に活かせる 経営記事の読み方 馬 駿 先生 経済学専攻経済学専任教授 |
| 第3回 10/24日(水) 14:00~16:00 企業活動がわかる 会計記事の読み方 廣橋 祥 先生 経済学専攻経済学専任教授 | 第4回 10/31日(水) 14:00~16:00 働くあなたに強くなる 法律記事の読み方 岩本 学 先生 経済学専攻経済学専任教授 |

受講の申込は、こちらからどうぞです。
 申込期間：10月10日(水)14時～10月17日(水)14時
 申込先：富山県女性財団(富山県民共生センター) 事務局
 〒930-0855 富山県富山市南富山1-1-1 富山県民共生センター
 TEL: 076-435-4000 FAX: 076-435-4001
 E-mail: info@fukurokai.or.jp

学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

再就職のため基本的な知識やスキルの習得を目指した女性のための再就職支援講座等を開催。あわせて、連携オーダーメイド型モデルで意識啓発とスキルアップを目指したセミナーを開催。

実施主体：富山大学男女共同参画推進室

連携機関：富山県女性財団(富山県民共生センター)、富山県商工会議所連合会
 富山県 総合政策局少子化対策・県民活躍課、富山第一銀行地域部
 ハローワーク、北陸銀行地域創生部

文部科学省「女性30歳未満男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」
女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりに関するモデル構築のための実証事業
日本女子大学リカレント教育課程 女性のためのビジネススキルアップコース
 本コースは、リカレント教育のモデル化・拡充・充実したモデル構築を目指し、受講者および企業向けアンケートをもとに、学習の機会を提供、再就職支援を検証。採用実績企業、リカレント教育に関して認知度の低い企業へのヒアリングをもとに、実際にどのような機能が求められているかを調べ、実行可能かどうかを検証。検証にもとづくプログラム開発。

| | |
|--|---|
| 第1期 12月15日(水) 19:00~21:00 基礎知識を身につける ビジネススキルアップ講座 講師：山本 美穂 先生 経営学専攻経営学専任教授 | 第2期 12月22日(水) 19:00~21:00 実践力を身につける ビジネススキルアップ講座 講師：山本 美穂 先生 経営学専攻経営学専任教授 |
| 第3期 12月29日(水) 19:00~21:00 応用スキルを身につける ビジネススキルアップ講座 講師：山本 美穂 先生 経営学専攻経営学専任教授 | 第4期 1月5日(水) 19:00~21:00 応用スキルを身につける ビジネススキルアップ講座 講師：山本 美穂 先生 経営学専攻経営学専任教授 |
| 第5期 1月12日(水) 19:00~21:00 応用スキルを身につける ビジネススキルアップ講座 講師：山本 美穂 先生 経営学専攻経営学専任教授 | 第6期 1月19日(水) 19:00~21:00 応用スキルを身につける ビジネススキルアップ講座 講師：山本 美穂 先生 経営学専攻経営学専任教授 |

日本女子大学リカレント教育課程

女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりとニーズ調査によるリカレント教育モデル構築のための実証事業

リカレント教育のモデル化／拡充／充実したモデル構築を目指し、受講者および企業向けアンケートをもとに、学習の機会を提供、再就職支援を検証。採用実績企業、リカレント教育に関して認知度の低い企業へのヒアリングをもとに、実際にどのような機能が求められているかを調べ、実行可能かどうかを検証。検証にもとづくプログラム開発。

実施主体：日本女子大学

連携主体：東京商工会議所、東京労働局、地域企業・自治体

女性のキャリア形成に資する 再就職事業のあり方について



女性たちが置かれている多様な状況への理解の必要性

- 10代で十分な学びの経験を得ることができなかった
- 就業継続を望みながら、さまざまな理由で離職せざるを得なかった

女性たちの多様なライフコースへの着目の必要性

女性たちのニーズ把握／ニーズを生み出していくことを支える

- 基礎学力がなく、日々の生活でも不便を感じ、自信をなくしている
- 復職支援がなく、育休復帰後に不安を抱えている
- 再就職を希望しているが「必要な知識や能力が備わっているか不安」、「仕事と家庭の両立の自信がない」(大阪市調査)
- 多様なバックグラウンド、地域差も大きい(日本女子大学)

⇒個々の状況にあわせたパーソナルな支援の必要性

(オーダーメイド型支援、ターゲットセグメント)

一律的ではなく、多様な「キャリア」形成の支援

- キャリア＝人生と捉え、個々人が生き方を選択し、何度でも自らチャレンジできる力を養う(仙台市)
- どのようなステージの女性であれ「学び・考え・つながり、未来(キャリア)をデザインする」こと(大阪市)

人と情報の交流を通じた支援

同じような状況に置かれている女性たち同士の学び合い

- 社外の育休中の女性から率直な意見が聞けた
- 育休中の悩みについて本音で話せる場が欲しい

⇒女性のエンパワーメントにつながる幅広い<キャリア>イメージの提示の必要性

⇒人や情報とのネットワークづくりを意識した支援の必要性

多様な主体による連携が進むことで立体的支援が可能になる
男女共同参画センターがもつ機能が事業に役立っている
学びは、女性たちのエンパワーにつながっている
エンパワーされた女性たちから新たなニーズが生み出されている

■課題

- 総合支援機能をもつ男女共同参画センターの地域での役割の明確化
- 大学・男女共同参画センター・民間企業等の強み・役割の確認
- 必要な事業を継続させていく仕組み
- 女性たちが継続就業できる環境を整えていくこと(出口の開拓・整備)
- 現在も続く性別役割分業のあり方を変えること